

1 無料化めざし、

ゴミ袋代を半額に

第1段階として紙おむつを無料に

住民税も払っているのに、税の二重取りだわ

有料指定袋のない自治体  
奈良市、大和郡山市、天理市、香芝市、葛城市、王寺町、三郷町、安堵町、山添村、明日香村

広陵町の45ℓゴミ袋代は売価45円ですが原価は11円です。町は3年間で8900万円の基金を貯め込んでいます。当面、袋代を半額、おむつは無料をもとめます。

ゴミ減量を理由に有料袋を導入しましたが、ゴミは減っていません。分別・リサイクルでゴミを減らしましょう。



やつお春雄町議、今井光子県議、山田みつよ町議

2 公共交通をもっと使いやすく

元気号の改善

デマンドタクシーの導入



町は、元気号のルートやダイヤを改定しましたが、便数が増えないため「使いづらい」と不評です。

予約制乗り合いタクシー（デマンドタクシー）について町は「利用が増えれば経費が増える」と消極的です。

町は5622万円（2018年H30年）も公共交通に支出しているといいますが、公共交通には国から4583万円あまりが交付されています。しっかりと予算を組んで住民の願いにこたえるべきです。

32億円の事業



大型開発より、  
くらし優先に

4

箸尾準工業地区の造成事業の見直し

2万3千坪の土地を町が買収し、企業を誘致する計画です。開発公社が32億円をかけて用地買収や造成工事をします。

それ以外に区画道路や上下水道など（5億6千万円）や幹線道路（6億円）は町

が公共事業として行います。

多額の費用をかけて売れ残れば将来、住民に大きな負担を背負わせます。

無謀な事業であり、日本共産党は見直しを求めています。



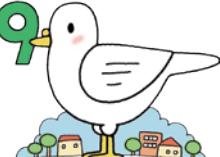
消費税は5%に引き下げを



弱いものから吸い上げ、貧困と格差を広げる消費税。大企業・富裕層優遇の税制を変え、海外派兵や米軍への軍事費をければ社会保障の財源は充分につくれます。

憲法9条いかした平和外交を

安倍首相は憲法を変えることに執念を燃やしています。国民が政治に望むのは、年金や教育・子育て支援の充実です。中東への自衛隊派兵は中止し、戦争させない平和外交をもとめます。



市民と野党の共闘で安倍政権に代わる野党連合政権をつくりましょう

新型ウィルス対策を早急に

2019年4月の参議院内閣委員会で日本共産党の田村智子参院議員は国立感染症研究所の定員削減による体制の弱体化を追及していました。日本共産党は1月28日に対策本部を設置し、関係機関と力をあわせています。

うそのない政治を

「桜を見る会」問題は、「自分を支援してくれる人を税金でおもてなし」し、それを隠すために資料を隠し、ごまかしていることです。政治のモラルが崩壊しています。市民と野党が力をあわせ、まともな政治をつくりましょう。



予算委員会で質問する  
田村参院議員

財源は、ため込んだ基金を活用すれば十分可能です